

令和6年度入学試験 学力試験（一般）

享栄高等学校

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

試験問題 (国語)

注意事項

- 試験は全問マークシート方式です。解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。マーク欄を正確にぬりつぶしてください。
- 問題冊子の印刷不鮮明等があった場合は手を挙げて監督の先生に申し出をしてください。
- HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使用し、ボールペンは使用しないでください。
- 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- 解答用紙の氏名欄に氏名を、受験番号欄に受験番号を記入し、受験番号をマークしてください。
- 試験終了後、問題用紙・解答用紙は回収します。

記入例 (例：享栄太郎、受験番号012345番、受験科目 国語)

【記入例】		氏名	受験科目名
良い例	悪い例	享栄 太郎	国語
※受験番号を記入しマークしてください。		1 0 1 2 3 4 5	27 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	28 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	29 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	30 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	31 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	32 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	33 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	34 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	35 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	36 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	37 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	38 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
		1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	39 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

【二】次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

中学や高校の勉強では、ずいぶん暗記をさせられた。歴史の年代や英単語、化学の元素記号など、暗記しなければならないものは、山ほどあった。正直言つて、暗記は好きではなかった。⁽¹⁾ 数学の問題を解くほうが、よほど楽しかった。暗記は、さして意味もわからずに、ただ繰り返し覚えるだけだから、そう楽しいものであるはずがない。どうしてこんなにもたくさん暗記しなければならないのか。そう思うことがたびたびあつた。

意味もわからずに、ただ暗記しても、しようがないだろうと思われがちだが、⁽²⁾ じつさいは、結構、暗記は役に立つ。中学のときの世界史で、中国の歴史を習うとき、まず、最初に歴代王朝の名称を丸暗記させられた。⁽³⁾ 殷、周、秦、漢、隨、唐、……。それぞれの王朝がいつごろなのか、どんな時代だったのか、いつさい知らずに、ただただ覚えた。そんなことをして何になるのだろうと思ったが、王朝の名称と時代順が頭に入っていると、そのあと学んだ⁽³⁾ 具体的な事象を整理し、一望するのにすごく役に立つた。中国の壮大な歴史の全貌を頭のなかで一举に思い浮かべてみるのは、なかなか⁽⁴⁾ 爽快なものである。何十年もまえのことなので、もうはつきりとは王朝名を思い出せないが、あのときの爽快感だけは、いまも明瞭に残っている。

日本人初のノーベル賞（物理学賞）の受賞者の湯川秀樹も、幼いころから漢文の素読を祖父にやらされたそうである。漢文の素読とは、意味がわからないまま、ただ漢文を声に出して読むことである。「X」、「北の冥に魚あり。其の名を鯢と為う。鯢の大きいさ、その幾千里なるを知らず。化して鳥と為るとき、其の名を鵬^{はう}と為う。……」（『莊子』）と声に出して読む。意味もわからずに、ただただ読む。それは湯川少年にとつてなかなかつらいことであつたようだが、その後、大人の書物を読み始めるときに、おおいに役に立つたそうだ。漢字への慣れにより、文字への抵抗がまったくなかつたのである。

このことに関連して、「単純提示効果」という面白い現象がある。同じものに何度も接していると、それを好ましく感じるようになるという現象だ。意味の分からぬもの、たとえば無意味な綴り（kmwjt_a のようなもの）でさえ、とにかく何度も接していると、「Y」が増してくる。人間は馴染みのないものには不安を抱き、慣れ親しんだものには安心感を抱く傾向がある。広_aコクを繰り返すのも、この人間の心理を利用している。

お坊さんになる人はよく経典の暗誦を行う。「……色即是空 空即是色 受想行識 亦復如是……」（『般若心経』）。漢文を書き下すこともなく、じかに音読みする。「Z」、意味はわからない。それでも、ひたすら繰り返し読み、おのずと暗誦していく。このような一見、無意味にみえることが、あとで経典の内容を学ぶうえで、すこぶる役に立つ。全文が頭に入っていることで、各部分の理解が容_bイになるのだ。

これと似たようなことは、私の専門の哲学でも起る。哲学の本は難解なので、なかなか最初から順に理解していくことができなかつた。理解しがたい箇所にぶつかると、とりあえずそれを読み飛ばしてつぎへ進んでいくしかない。そうすると、そのつぎの部分

の理解が十分でなくなる。それでも、仕方ないから不十分な理解のまま、さらにさきへ読み進めていく。すると、またしても理解しがたい箇所にぶつかる。⁽⁵⁾このようなことを繰り返していると、そのうちほとんど意味がわからなくなり、もう読み進めることができなくなる。こうして途中で挫折する。しかし、挫折したままで、哲学書全体の理解は叶わぬ夢になってしまふ。

大事なことは、理解しようなどと思わず、とにかく全文を読み切ることだ。なまじ理解しようと思うから、理解できなくなると、挫折する。最初から理解を求めなければ、最後まで読み切ることができる。意味がわからなくとも、文字面だけでも結構楽しいものがある。それを頼りにとにかく読む。そして繰り返し読む。もちろん、そうしたところで、わからない箇所が多すぎるから、「読書百遍意自ずから通ず」というわけにはいかない。それでも暗記するくらい繰り返し読んでおけば、そのあと必死の理解を試みることで、何とか理解できるようになつてくる。⁽⁶⁾理解できないまま全文を読み切ることが理解に至る必須の条件なのである。

それにたいして、数学はひとつずつ順に理解していく。いやむしろ、そうやって理解を積み上げていかないと、全体が理解できない。このような場合には、意味もわからずに全体を暗記する必要はない。しかし、哲学のように、順に理解していくことができないものもある。各部分がわかつて全体がわかるのではなく、全体がわかつてはじめて各部分がわかる。このような場合は、意味もわからずに全体を暗記するくらい、何度も全体に接する必要がある。それが理解に向けての出発点なのだ。意味を気にせず、とにかく声を出して読む。文字を絵画のように楽しみ、音を音楽のよう楽しむ。これが理解へと至る※要諦なのである。

【『「覚える』と「わかる」 知の仕組みとその可能性』 信原幸弘 ちくまプリマーニ新書】

(注) ※ 要諦：物事の最も大切なところ。

問1 二重傍線部 a 「コク」 b 「イ」を漢字に直したとき、同じ漢字を用いるものを、各語群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は 1 ・ 2。

- a 広コク 1 ① 雜コク米を食べる。 ② コク道を走行する。 ③ 溪コクを眺める。 ④ 時コク表を見る。 ⑤ 不正をコク発する。

- b 容イ 2 ① 相手をイ圧する。 ② 安イに考える。 ③ イ識がなくなる。 ④ 席をイ動する。 ⑤ 姿勢をイ持する。

問2 傍線部(1) 「数学の問題を解くほうが、よほど楽しかった」とあるがそれはなぜか、その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 3。

- ① 数学は得意科目なので、勉強をしなくても簡単に理解できてしまうから。
② 数学は内容ごとにつながりがなく、全てを理解する必要がないから。
③ 数学はひとつひとつ順番に理解していくことができ、暗記する必要がないから。
④ 数学は意味が理解できないのであれば無理に取り組む必要がないから。
⑤ 数学は理解する順番が決まっており、その通りにすればよいから。

問3 傍線部(2) 「じっさいは、結構、暗記は役に立つ」とあるが、本文中で述べられている例として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 4。

- ① 数学をひとつずつ順番に理解していくようになり、問題を解くことが楽しいと感じられるようになること。
② 中国の歴代の王朝名を覚えることで、歴史上の偉人の功績を頭のなかで思い浮かべられるようになること。
③ 漢文を音読することを通して漢字に慣れ、文字への抵抗がなくなり大人の書物を理解できるようになること。
④ 経典の全文を暗記して何も見ずに唱えられるようになることで、自然と内容が理解できるようになること。
⑤ 難解な哲学書全体の内容を完全に理解することで、各箇所の内容を順番に理解できるようになること。

問4 傍線部(3)「具体的な事象を整理し、一望する」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 5。

- ① 一つ一つの出来事の関係を捉え、その全体像を把握するということ。
- ② 一つの出来事に注目し、より深く歴史を理解するということ。
- ③ 重大なものだけに着目し、それらの関連性を見出すということ。
- ④ 一つの物事を見つめなおし、この先起こりそうな出来事を予測すること。
- ⑤ これまでの事柄から展開を想像し、将来に対して希望を抱くこと。

問5 傍線部(4)「爽快」について、この熟語の構成と、同じ構成のものを次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 6。

- ① 進退
- ② 登山
- ③ 腹痛
- ④ 救助
- ⑤ 花束

問6 空欄 「X」「Z」にあてはまる語句として最も適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は 7。
8。

X
⋮
7

Z
⋮
8

- ① たとえば
- ② もちろん
- ③ なぜなら
- ④ あるいは
- ⑤ さて

問7 空欄「Y」に当てはまる語句として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は

9。

- ① 存在感 ② 違和感 ③ 習熟度 ④ 不信感 ⑤ 好感度

問8 傍線部(5)「このようなこと」の説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は

10。

- ① 途中で挫折して哲学書を読み切れなくなること。
② 理解ができていない状態で読み進めていくこと。
③ 幼いころから意味も分からず暗記の訓練をすること。
④ 初めから全体像の理解を諦めること。
⑤ 自らすんで漢文や経典などを読むこと。

問9 傍線部(6)「理解できないまま全文を読み切ることが理解に至る必須の条件」とあるがそれはなぜか、その理由として最も適当なものを、

次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は

11。

- ① 哲学などは全体を十分理解していないと決してそれぞれの箇所を理解できないため、読み通すことが必要だから。
② 理解するためには理解できなくても諦めずに最後まで読み切ることで根気を身につける必要があるから。
③ 全ての物事は全体像を捉えてからでないと一つ一つの内容を理解できないため、全てを読まなければならないから。
④ 理解できないままでも全文を読み切ることができるとその後の努力で細かなところまで理解できるようになるから。
⑤ ひとつひとつ順番に理解をしていこうとすると時間と労力がかかり、理解が困難になってしまいうから。

【二】次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

最近になつて急に個性教育ということが強調されるようになった。筆者も参加している第十五、六期の中央教育審議会において、個性を重視する教育を行なうべきかが極めて重要な課題として論議されている。

このような状況^aが生じる要因のひとつとして、(1) 欧米諸国の人に対する厳しい批判がある。日本人は全体的、平均的に知識のレベルを向上させることができない。全体の知的水準の高さを基礎にして、科学技術を発展させ、経済的には一流になつたが、そのようなことを可能にした基礎としての科学研究の領域で大きい仕事を何もしていない。^b タン的に言うと、上手な人真似で金を儲けるが、その基になる発明や発見は他人まかせにしていてズルイというのである。日本の外交官、近藤誠一は在米大使館が行なつたアメリカ人の対日深層心理調査の結果にもとづいて「アメリカ人の間には、予想以上の否定的対日感情が、その心理の底流に流れている」ことを明らかにしている(近藤誠一『歪められる日本イメージ』サイマル出版会)。日本人は「ずる賢く」、「世界を征服しようと企んでいる」、「気の許せない」人間と思われているという。

「I」、他人のもつてゐるものを取り込んで、ずる賢く立ち回り、やがては世界を征服しようとしている、というイメージをもつて日本人を見ている人が多い、ということである。そんなのまつたくの^cゴ解と日本人は言うだろうが、それはある程度仕方がない、と言うべきであり、その要因として、日本人の個性のなさということがある。うまく他人の考えを取り入れるのに、「あなたの考えは」と訊かれると、ほとんどの人が答えない。いつも、あいまいである。これは背後で何か企んでいるのだと思われてしまう。私自身もそのようなゴ解を受けることがあって、なるほどと思ったが、おそらく、日本の外交官やビジネスマンで外国人と交渉する機会をもつた人は同様に感じたのに違いない。そこで、日本人の^Xがにわかに認識されてきたと思われる。

個性を大切と考える欧米においては、人間の能力差の存在ということは当然と思われている。しかし、この点について日本人は呆れるほどの「平等感」をもつてゐる。十五期の中央教育審議会において、欧米の創造的な学問研究の流れに遅れないようにするひとつの方策として、あちらでは普通のことになつてゐる、小中学校におけるいわゆる「とび級」など、要するに能力に応じて年齢と関係なく進級できる制度を日本に導入することについて論議された。欧米においては、特に優秀な人物は、年齢と関係なく大学や大学院へと進んでゐる。そこで、日本においてもと考え、小中学校での「とび級」を見送るとしても、特に優秀な者はせめて大学入学のチャンスを一年くらい早くするという案が提示された。しかし、これに関する一般、あるいは大学の反応は否定的な方が多かつたようだ。

(2) 欧米では常識になつてゐることが、なぜ日本ではできないのだろう。それは、日本人のもつほとんど絶対と言えるほどの「平等感」による抵抗のためであると思われる。日本ではこのような平等感を盾にとつて、⁽³⁾創造的な才能をもつた人の「足を引張る」ことが多く、これまでも、優秀な学者が海外に流出することが多いという事がそれ証明している。これが現在日本の問題なのだ。

ところで、興味深いことに、日本でも戦前はある程度の「とび級」を認めていた。旧制の中学校は五年制だったが、四年修了で旧制の高校を受験することができた。つまり、よくできる者は四年修了で高校、大学と進むことができたのである。

あるとき、鶴岡市の史跡である庄内藩の藩校「致道館」を見学した。これは一八〇〇年初頭に設立された藩校であるが、その教育方針は徹底してた Y に貫かれていた。『史跡庄内藩校致道館』（社団法人庄内文化財保存会）によれば、「入学当初以外は年齢による規制はなく、入学者後は学力に応じて進級できる仕組み」になっていた。そして士分以下のものでも秀才については特別入学を許し、身分制度に対しても自由な道をひらいていた。この藩校の教育方針は、現在においても参考になることが他にもあるが、それは d カツ愛して、⁽⁴⁾ ここに示された「とび級」の思想について考えてみたい。

致道館において完全な「とび級」が認められていたもとには、この館の教育に関する趣意書ともいべき「被仰出書」に次のようない文が認められる。つまり、「天性得手不得手有之者候」とか、「天性可大者致大成、可小者致小成」などの文が認められる。ここでは、人間に性來にそなわつているものとしての「天性」が重視され、天性が大か小かによつて将来が異なるので、指導者はその点を弁えるべきだと述べられている。

このような考えは、もともと荻生徂徠の思想に基づくものである。荻生徂徠は朱子学を学びつつも彼独自の考え方を発展させた人である。従つて、おそらく当時の日本中の藩校の教育方針がすべてこのようだつたとは思はないが、ともかくこののような思想に基づいて、「とび級」を徳川時代になつていていた、という事実は注目に値する。

それではこのような考え方や制度が存在したのに、戦後に一挙にそれがなくなり、現在においてなぜ一般の人々（インテリも含めて）が、「とび級」に対してアレルギーと言つていいくほどの反撥^{はんぱつ}を示すのだろうか。それは多くの人々は絶対平等感を「民主主義」の考え方として欧米から輸入したものと考へてゐるからである。ところが、その欧米において「とび級」は普通にあるし、興味深いことに、日本の徳川時代にもあつたのだ。これは重要な問題だと思われる。これにはいろいろなことがからみ合つてゐるので、簡単には解明できないとも思うが、私なりに考えたことを述べてみよう。

まず言えることは、⁽⁵⁾ 欧米において言われる個性と、荻生徂徠の言う天性とは、似てはいるが異なる、ということである。結果的には個人差を認めているが、日本の場合の発想は「天」からはじまつており、人間の持つてゐる天性の差が問題とされるのに対し、欧米では、個人から発想し、

個人の間の能力差を問題とする。おそらく、ヨーロッパでもはじめは個人の能力を神から与えられたものとして受けとめていただろうが、既に述べたように、だんだんと人間の力が強くなるに従つて、個人を中心とする発想に変化していったのだろう。

「II」、日本は欧米の強い影響を受けて、「天性」などという非合理、と思われることは棄ててしまった。そして、「民主主義」を取り入れるときに「個性」抜きにし、日本人的母性原理と結びつけてしまったので、まったく没個性的な絶対平等感ができあがつてしまつた。⁽⁶⁾これを日本の伝統的考え方によるものと考えず、進歩的な外来思想のように思い込んだので、これは余計に日本に強固になつたと思われる。

人間存在の本質にかかる平等感と、能力差の肯定は区別して考えるべきことである。しかし、これは実際にはなかなか難しい。⁽⁷⁾これを行なうためには、次に述べるように、通常の「私」の背後に、何らかのそれを超えるものの存在を認めざるを得ない。ここで、西洋の「唯一の神」ではなく、「天」という存在を認める考え方がある。必ずしも借りものによらずに考えることが可能となるからである。

【『日本文化のゆくえ』 河合隼雄 岩波書店】

問1 二重傍線部 a「キヨウ」 b「タン」 c「ゴ」 d「カツ」を漢字に直したとき、同じ漢字を用いるものを、各語群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は 12 → 15。

- a 状キヨウ 12 ①仲間とキヨウ力する。 ②商品を提キヨウする。 ③実キヨウ放送を見る。 ④陸上キヨウ技の練習をする。
b タン的 13 ①極タンな言い方。 ②冷タンな性格。 ③簡タンな方法。 ④タン究心をもつ。
c ゴ解 14 ①正しい敬ゴを使う。 ②ゴ字を訂正する。 ③ゴ樂の一種。 ④味方を援ゴする。
d カツ愛 15 ①生徒会カツ動にはげむ。 ②カツ舌がいい。 ③神輿をカツぐ。 ④土地をカツ譲する。

問2 傍線部(1)「歐米諸国日本人に対する厳しい批判がある」とあるが、どのような「批判」があつたのか。その内容として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は 16。

- ①日本人は、他国の発明や発見によつて成果を得るため、ずる賢く気が許せないという批判。
②日本人は、各分野において様々な能力を發揮し、成功をおさめており、そのことに対しても嫉妬心を含む批判。
③日本人は、得手不得手がありながらも誠実に物事に取り組み、成功をおさめているので非効率的だという批判。
④日本人は、自國だけでなく世界各国で成功をおさめており、各国の経済活動を侵害しているという批判。

問3 空欄「I」「II」に当てはまる語句として最も適切なものを、各語群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は 17 ・ 18。

「I」・・・ 17 「II」・・・ 18

- ①つまり
②ところで
③でも
④だからといって

問4

空欄 X Y に当てはまる語句として最も適切なものを、各語群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は 19 20。

X Y

① 道徳心をはかる調査の実施

② 協調性を育む教育の推奨

③ 語学力を養う教育の計画

④ 個性を伸ばす教育の重要性

Y 20

① 単独主義 ② 資本主義 ③ 能力主義 ④ 効率主義

問5 傍線部(2)「歐米では常識になつてゐること」について、本文中でどのようなことを指してゐるか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は 21。

- ① 特に優秀な人物は、年齢に関係なく上級学校への進学ができること。
- ② 能力が伴つていなくても、個人が強く望めば、希望がかなうこと。
- ③ 一定の年齢に達したら、様々な活動に取り組むことができること。
- ④ 所定の手続きをとることによって、その国の永住権を得られること。

問6 傍線部(3)「創造的な才能をもつた人の『足を引張る』こと」とは、どういうことか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は 22。

- ① 優秀な人材に対して、本人の希望する報酬を与えることができないということ。
- ② 早くから才能を發揮した優秀な人材が活躍する機会が失われるということ。
- ③ 各国の優秀な人材が交流する機会と場を用意できないということ。
- ④ 優秀な人材が成果を得られるだけの援助をすることができないということ。

問7 傍線部(4)「ここに示された『とび級』の思想について考えてみたい」とあるが、本文中で述べられている「『とび級』の思想」として、最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は 23。

- ① 人間にそなわっている「天性」は、その大きさによって将来が異なるということを、指導者が充分理解すべきだということ。
- ② 個人が持つ才能は天からの贈り物だと考え、それを才能を持たない人に還元する必要があるということ。
- ③ 指導者がどれほど手をかけて指導したとしても、才能を伸ばすのは個人であるため、個人のやる気に左右されるということ。
- ④ 一人一人に備わっている能力は、各家庭環境に依存して養われるため、教育機関では指導のしようがないということ。

問8 傍線部(5)「欧米において言われる個性と、荻生徂徠の言う天性とは、似てはいるが異なる、ということである」とあるが、i 「欧米において言われる個性」と ii 「荻生徂徠の言う天性」の内容として最も適切なものを各語群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は 24 ・ 25。

i · · · 24 ii · · · 25

- ① 個人から発想し、個人の間での能力差を問題とする。
- ② 天からはじまつており、人間の持っている天性の差を問題とする。
- ③ 師から学び、個人で養った能力の定着率を問題とする。
- ④ 親から与えられ、個人が汲み取った教育の質を問題とする。

問9 傍線部(6)「これ」の指す内容として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は

- ① 日本人的母性原理
- ② 民主主義
- ③ 没個性的な絶対平等感
- ④ 藩校の教育方針

問10

傍線部(7)「これ」の指す内容として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は

- ① 西欧流の教育制度と日本流の教育制度を、区別して考えること。
- ② 人間存在の本質にかかる平等感と、能力差の肯定を区別して考えること。
- ③ 戦前の日本の教育制度と戦後の日本の教育制度は背景が異なるため、参考にしないこと。
- ④ 「平等」という考え方を間違つて捉えると、破滅的な終着点にたどりつくということ。

問11

本文の見出しそして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は

28

。

- ① 日本人と個性
- ② 欧米の教育力
- ③ キリスト教の教え
- ④ 平等な社会

27

。

26

。

【三】次の各問いに答えなさい。

問1 次のA～Dのことわざの意味を、あとの①～⑥の中からそれぞれ一つ選びなさい。解答番号は

□ 29

□ 30

□ 31

□ 32

□ 29
↓
□ 32

- A 井の中の蛙大海を知らず
B 棚からぼたもち
C 泣きつ面に蜂
D 喉元過ぎれば熱さを忘れる

- ① 小さなものにもそれ相応の意地や感情があること。
② 思いがけない幸運がめぐつてくること。
③ 無理に相手と争うよりも、勝ちをゆずる方が結果的には得になること。
④ つらいことや苦しいことや受けた恩などは苦しい時がすぎると忘れてしまうこと。
⑤ 悪いことの上に、さらに悪いことが重なること。
⑥ 自分の身の回りのことしか知らず、もっと広い世界があることを知らないこと。

問2

次の空欄にあてはまる漢字をあとの中からそれぞれ一つ選び、慣用句を完成させなさい。解答番号は

33

。

36

。

- A 33 も食わぬ 意味・・・誰も相手にしないこと。
B 34 の甲より年の功 意味・・・年長者の経験は尊重すべきこと。
C 35 の涙 意味・・・ほんのわずかなこと。
D 36 の手も借りたい 意味・・・大変忙しく、人手不足である様子。

- ①雀 ②鷹 ③犬 ④猫 ⑤蛙 ⑥亀

問題はここまでです。マークシートは36までです。